

東海地区部会研修会報告

東洋バレル工業株式会社
井藤光弘

去る、平成 28 年 2 月 17 日、東海地区部会研修会が名古屋市中区「東京第一ホテル錦」にて開催されました。「紙管製筒専用ベルト」、というテーマにつきまして、ニッタ株式会社 工業資材事業部様にご説明いただきました。

企業紹介から既存のベルトの説明をいただき、現状のベルトでの紙管製筒における問題提起及び、開発コンセプトである「高寿命」「低負荷」「安定した製筒」から紙管製筒専用ベルトの耐屈曲走行試験、ひねり走行試験、圧力分布測定などの試験を実施したデータを見せていただきました。



この研修を通して、今まで使用していたベルトの特徴を再確認することができ、長所、短所を知ることができました。また、専用ベルトが機能すると、安定的な仕事の実現の他、経費の削減などにも効果を発揮することに、大変興味を持ちました。

このベルトがどの会社でも効果を発揮するならば、安定した製造、経費削減等、会社にとって様々なメリットがあり、業界全体にプラスになるのではないかと大変参考になりました。

実際には紙管製筒の機械は各社様々な使用条件があることと思います。使用してみないとわからないこともいくつかあるのではないかと思います。その他にもニッタ様が注意すべき点としてあげておられましたが、従来通りのベルトの張り方ではメリットがでない可能性があります。またベルトの張りは「オペレーターの技術」の他、「天気」「季節」「湿度」等の様々な要素も関係することから、自社での検証も必要であると思いますが、非常に魅力あるベルトだと感じました。

今回、約三年間もの開発をしてくださったニッタ株式会社様、並びに組合の強化、発展を思慮し、専用ベルトの開発にご尽力いただきました三協紙業株式会社様には大変感謝致します。また、地区部会にて、このような研修会を開催していただき、本当にありがとうございました。この場をお借りいたしましてお礼申し上げます。

